まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。
▷問い合わせ　広報情報係
（☎２２３局３５６９）

TOWNS TOPICS

フェアプレー宣言で芦屋町を元気に

6月22日　あしやハンズ・オン・キッズ×九州共立大学

小学生56人が参加するあしやハンズ・オン・キッズ。スポーツ大会のプログラムを、包括的地域連携協定の一環として九州共立大学の学生が企画してくれました。「子どもたちは集まってまだ2回目。メンバーの団結力を高めながら楽しめるプログラムを考えました」と谷井友哉さん。フェアプレー宣言をして取り組んだ子どもたち、培った団結力で今後の活動をさらに楽しくしていくでしょう。

大人になる準備。将来の姿を想像して仕事を体験

7月4日　中学生職場体験学習

働くことの喜びや厳しさなどを体験し、自らの生き方について考える力を養うことを目的に、芦屋中学校2年生132人が36の施設や事業所などで職場体験学習を行いました。芦屋中央病院前にある溝上薬局では、薬剤師の浜洲知（はますとも）さんの指導の下、髙橋遼平さんと砂川智海さんが、調剤薬局の仕事を体験しました。2人は将来医療関係に進みたいと希望しており、貴重な体験ができて大変勉強になったと話していました。

洪水を想定して、芦屋基地へ避難訓練

7月6日　芦屋町洪水避難訓練

大雨で遠賀川から洪水発生の可能性が高まり、避難者が多くなって指定避難所で受け入れられなくなるという想定で、一時避難所として航空自衛隊芦屋基地に避難する訓練を行いました。航空自衛隊芦屋基地の協力のもと、芦屋基地周辺の5自治区や芦屋町商工会、福祉施設、学童クラブなどから321人が参加。気温が上がる中、汗を流しながら避難経路を確認し、いざという時のために備えました。

皆で考える、皆の課題、差別をなくすこと

7月12日　人権講演会

同和問題啓発強調月間の取り組みとして人権講演会が行われました。講演会の講師を務めた稲積謙二郎さんは、新聞社での経験や人権行政に携わる中で見てきた同和問題を話してくれました。「部落差別の解消の推進に関する法律の意義は部落差別の存在を認めたこと。今後、部落差別をなくすことは私たち一人ひとりの課題である」と教えてくれました。

KBCテレビ・ラジオで1週間、芦屋町をあちこち紹介

7月1日～7日 ふるさとWish in 芦屋町

ＫＢＣ九州朝日放送の企画として、福岡県内60市町村を巡りスポットを当てるふるさとＷｉｓｈ。1週間のテレビ・ラジオ特集で町内のさまざまな人や場所が紹介されました。お笑い芸人の波田陽区さんやレポーターのアイタガールの皆さんが観光地や店を紹介。広い世代の人に見て、聞いてもらい、芦屋町を知ってもらうことができました。放送後には「テレビを見てきました」と訪れる人がいるなど、すぐに反響もありました。

町にこだまする、わっしょい！

7月13日・14日　祇園山笠大祭

梅雨明け前に迎えた祇園山笠初日は、雨のため巡行は中止に。2日目、山鹿地区、芦屋地区東部・西部の山車（だし）が町内を練り歩き出すと、太鼓や鐘の音に誘われた人々が続々と集まってきました。気温は26度ほどで、例年の猛暑に比べると快適な祭り日和となり、江川台の急勾配で山車をひく山鹿地区の皆さんの姿は、いつもの止まらぬ汗をぬぐう様子とは違いちょっぴり余裕が感じられました。